

# 更生保護 あおもり



【第86号】

発行日 平成30年10月1日  
 発行者 更生保護法人 青森県更生保護協会  
 青森県保護司会連合会  
 青森市長島1-3-25  
 電話 017 (776) 6419

【東北エモーション】

写真・文 八戸地区保護司会

2013年から土休日のみ運行されているレストラン列車。三陸の海が広がる八戸線(八戸駅～久慈駅)を走ります。往路はランチコース、復路はデザートbuffet。人気シェフが交替で提供するの東北の食材を使ったオリジナルメニュー。なかなか予約が取れないそうです。



「若者たちと共に」

青森県 BBS 連盟  
 監事 金澤 拓紀

私とBBSとの出会いは、2011年の東日本大震災直後に青森へUターンし、青森県内に子どもと関わっている学生団体がないかどうかを調べていたことがきっかけでした。弘前大学に「Teens & Law」というサークルがあることを知り、顧問の宮崎秀一先生に連絡を差し上げてお話を伺わせていただいたのですが、そのご縁から、平成25年に白神山地で開催した「第13回こども・みらい・サポート事業(主催:公益財団法人日立みらい財団、日本BBS連盟ほか)を手伝わせていただくことになり、現在も青森県BBS連盟に籍を置かせてもらっています。

それまでのBBSメンバーは、小・中学生を対象としたキャンプやアウトドア活動の経験がほとんどなかったため、前年度に青森県(青少年・男女共同参画課)の委託事業を活用して実施したブ

レキャンプでは、ほぼ全面的に青写真を描かせてもらいました。しかし、そのときにスタッフとして参加してくれた弘前大学や青森大学、青森中央学院大学の学生メンバーが中心となって「こども・みらい・サポート事業」の開催に向けた実行委員会を結成し、翌年の本番では見事に企画の立案から準備、当日の進行までを学生たちがメインとなってやり遂げてくれました。当時の学生たちは既に社会人として各方面で活躍していますが、嬉しいことにそのうちの何名かは卒業後も社会人メンバーとしてBBS活動に携わってくれています。また、青森県立保健大学にも新たにBBS関連のサークルが誕生し、各大学の活動内容も非行防止や更生保護に限らず、ひとり親家庭や生活困窮世帯を対象とした「子ども食堂」の運営補助や学習支援など、多岐に渡るようになってきました。

子どもたちからすればお兄さん・お姉さん的な立場として振る舞うことができる10代や20代の若者たちが活躍できてこそ、BBS(Big Brothers and Sisters)の名に相応しいと考えていますが、青森県にもこんなに素晴らしい若者たちがいるのだということを発信していけるよう、これからも「やっぱはまり」を続けてみたいと思います。

## 第40回青森県更生保護大会

予告〈南黒地区保護司会〉【黒石市・藤崎町・田舎館村】

期日/平成30年11月20日(火) 会場/藤崎町文化センター



昨年12月に再犯防止等の推進に関する法律に基づき「再犯防止推進計画」が策定されました。この時に当たり、更生保護関係団体が一堂に会して式典、顕彰、意識の統一と士気高揚を図り、犯罪や非行のない明るい社会の実現に寄与しようとするものです。

詳細は、各地区保護司会からのご案内となります。

県内保護司現員数(平成30年9月1日現在)

保護区名	定数	保護司数	過不足数	充足率
青森	132	116	16	88%
弘前	78	74	4	95%
八戸	124	110	14	89%
南黒	29	29	0	100%
河南	25	21	4	84%
五所川原	61	57	4	93%
つがる	22	22	0	100%
鱒ヶ沢	20	20	0	100%
上十三	52	42	10	81%
野辺地	43	40	3	93%
むつ下北	44	40	4	91%
合計	630	571	59	91%

# 「被害者・遺族の現状と心情、その対応」

～青森県保護司会連合会自主研修より～

## 被害者と家族の気持ちに 寄り添って欲しい



講師  
青森県警察本部  
警務部警務課  
犯罪被害者支援室  
心理専門官(臨床心理士)  
課長補佐 富岡拓身氏

青森県保護司会連合会では、平成30年6月28日(木)青森保護観察所に於いて、理事会の前に、青森県警察本部・臨床心理士の富岡氏を迎え自主研修会を開催しました。

講演で富岡氏は、被害者・遺族の人は、加害者の事を気にしています。「加害者はどうしているのだろう」「手紙や挨拶に来ないがどうしたのだろう」。片や反面もう二度と顔を見たくない手紙も欲しくない、という人もいます。

一方で何かしてくれればいいのにと思っている人もいま

す。事件・事故が発生してすぐに、加害者やその家族の方が何処まで誠意をもって接するかが、その後の被害者や家族の精神状態に大きく影響していると思います。仮釈放中でも被害者や遺族の御希望に沿った対応をすることが、被害者・遺族の精神的安定に影響します。

誰もが被害者や遺族になる可能性があります。親戚や近所の人々の心ない言葉が「二次被害」となることもあります。被害者や遺族の方が身近にいたら、その気持ちに寄り添って欲しいと思います。



ご入会・ご支援のお願い

青森県公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体 公益社団法人

あおもり被害者支援センター

青森市中央3丁目20-30

県民福祉プラザ3階

TEL 017-718-2085

## 更生する人に就労支援を 犯罪のない青森県へ

こころ優しい風土・あたたかく受け入れる地域社会をめざして

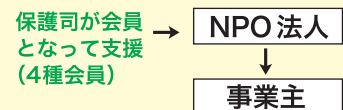
〈会員を募集しています〉

保護司・事業者の皆様  
会員になり支援をお願い致します。

### 【主な会員の紹介】

- 【一種会員】青森県商工会議所連合会  
青森県商工会連合会  
青森県中小企業団体中央会
- 【二種会員】一般の事業者
- 【三種会員】青森県下5地区の協力雇用主会
- 【四種会員】青森県保護司会連合会・  
青森県更生保護女性連盟などの  
団体・弁護士
- 【連携・協力関係】厚生労働省(ハローワークなど)  
法務省 青森保護観察所  
保護司・保護司会  
更生保護関係団体

### ① 協力雇用主に対する給与助成



### ② 刑務所出所者等へ

- ◎保護観察対象者
- ◎緊急更生保護対象者

1. 就労に関する情報提供
2. 就労援助
3. 健康診断費用
4. 資格取得援助

## 犯罪や非行をした人の再犯を防止するには 就労支援が必要です

当機構は、青森県内の経済団体や事業者のご協力を得て、犯罪・非行をした人たちの就労支援などを行い、再犯のない安全な社会づくりに協力する組織です。

NPO法人 青森県就労支援事業者機構

TEL 017-763-0763 FAX 017-763-0764  
メールアドレス npo@ao-kousei.com

# 第68回 社会を明るくする運動

～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～



青森保護観察所・青森県更生保護協会・青森県保護司会連合会・青森地区保護司会の皆さん



写真は合成です。

## 青森ねぶた祭りで全国からの観光客にもアピール!!

県保連では、青森保護観察所、青森地区保護司会のみなさんと共に8月4日、青森市PTA連合会ねぶたの協力を得て青森ねぶた祭りに参加、総勢40名で社会を明るくする運動を実施。のぼりや「おかえり」の横断幕を掲示、沿道の観客に「再出発を見守る社会へ」のうちわ・チラシを配布しました。



社明グッズを配付する保護観察所本平所長

## 第68回 社会を明るくする運動

青森 刑務所

# 青森矯正展

青森保護観察所

### ホゴちゃん着ぐるみデビュー

7月8日(日)青森矯正展が青森刑務所で開催されました。保護観察所では、更生保護の展示物のほか、ホゴちゃんお絵かきコーナーが大人気。また、県更生保護協会所属のホゴちゃん着ぐるみもデビュー。子どもたちだけではなく、大人の方たちからも注目を浴び「更生保護って何んですか？」などの質問が多く寄せられキャラクターの魅力存分に発揮できたようでした。

ホゴちゃんは、これからも各地区で活躍の予定です。



保護観察所の職員のみなさんも奮闘した1日でした。子ども達は、ホゴちゃんのぬりえに一生懸命。



青森地区

### 公立大生が中学生にインターネットの講演を、青森市長と街頭広報活動、青森ねぶたにも参加



7月14日、北中学校で県警サイバー防犯ボランティアの青森公立大学生が「ネットトラブルにならないために」と題して講演。自衛隊音楽隊の演奏も見事でした。



7月18日、青森市役所駅前庁舎前で小野寺青森市長も参加して、社明グッズ(うちわ・ティッシュ・チラシ)と黄色い羽根を配布。ホゴちゃんも頑張りました。



8月4日、青森ねぶたまつり(青森市PTA連合会ねぶた)で社明グッズを沿道の観客に配布。青森県保護司会連合会・青森地区保護司会・青森保護観察所が参加。

南黒地区

### 公用車を活用した社明街頭広報活動は8年間継続

地区全体で取り組んでいる特徴的な活動としては、構成市町村の公用車(交通安全指導車等)を活用した社明街頭広報活動です。公用車にマグネット式の啓発標語を貼り付け、録音テープによる社明広報活動をこれまで8年間継続して実施しているところです。



黒石支部では、市内中学校のJUMPチームや生徒会の協力を受け、期間中に登校する生徒に社明ティッシュの配布や挨拶運動を行っています。加えて、黒石ねぶたまつりにおいて社明うちわを150本配布いたしました。



黒石市でのメッセージ伝達



藤崎町でのメッセージ伝達

内閣総理大臣メッセージ伝達は、地区内構成市町村長の絶大な支援と信頼を受け、地道にしっかりと活動を実施できていることは、大変ありがたいことだと受け止めています。

河南地区

### 平川市長と大鰐町長に総理大臣・青森県知事メッセージを伝達

6月29日朝9時から「社会を明るくする運動」のぼり旗を8ヶ所に更生保護女性会と共に設置。午前11時から平川市長と大鰐町長に総理大臣・青森県知事メッセージを伝達しました。

社明運動キャンペーン活動は、大鰐地区が7月2日7時から大鰐駅前、大鰐小学校入口等7カ所を実施。平川地区は、7月3日から5日まで平賀駅前や碓ヶ関駅前等で実施。特に効果的だったのが柏木農業高校生徒玄関前での挨拶運動を兼ねたティッシュ配布したことでした。

学校訪問は、大鰐小中学校が6月27日、平川地区は7月3日平川市役所前で出発式後小中学校13校と高校2校を4班に分かれて訪問。メッセージ伝達、ポスター掲示、作文コンテスト応募依頼、情報交換等を行いました。

7月9日には大鰐中学校体育館で、大鰐中学校全生徒や各種団体等約



学校訪問出発式で激励をする平川市長



柏木農業高等学校生徒玄関前キャンペーン活動



大鰐町民総決起大会で非行防止宣言をする生徒会長



平賀東小学校訪問で校長にメッセージ伝達

300名参加し町民総決起大会を開催。生徒会長が非行防止宣言を誓い、大会後、町内街頭パレードを予定していたが空模様不安定ということで中止になりました。

五所川原地区

### ホゴちゃんお披露目で注目

五所川原分会・オルテンシアフェスティバルに参画  
 板柳分会・町を明るくする町民大会  
 中泊分会・社明運動組として夏祭りに参画  
 鶴田分会では、強調月間初日の7月1日、のぼり旗の設置を行いました。のぼり旗の設置は、3年目になりますが、「社会を明るくする運動」と書かれた黄色ののぼりが、国道339号線沿いに20本。車を走らせていると、風になびいて目を引きまします。こののぼりを見て誰かが気づいてくれることがこの活動の第一歩です。

8月10日、町青少年健全育成パレードに横断幕を持ち参加。開会式にて、町長へメッセージの伝達。今年できたばかりの「ホゴちゃん」の着ぐるみもお披露目。

広報活動に一役かうことができました。

### 五所川原（鶴田分会）社明活動の紹介



つがる地区

### 小学校・中学校で青少年健全育成委員会・更生保護女性会・保護司会と協力して朝のあいさつ運動を実施



つがる地区では毎年5月に、市民が一丸となって犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラとなるため、関係機関・団体が参加して、社会を明るくする運動市民集会推進委員会を開催しています。

今年7月5日（木）、地域社会の安全・安心の実現に寄与する取組として、第68回社会を明るくする運動市民集会を、つがる市生涯学習交流センターにおいて盛大に開催しました。多くの市民の参加を得て、小中高学生の作文コンテスト入賞作品の発表や更生ペンギンホゴちゃんを活用した子供や家族連れに向けた活動を実施し、地域の環境を作りをしています。また、6月から青少年健全育成委員会・更生保護女性会・保護司会が協力して、小・中学校で「朝のあいさつ運動」、地域の祭りに参加してパンフレットの配布や市の広報車を活用して広報パレードなども実施しています。

弘前地区

### =中学生が真剣に想いを語る= (意見発表 弘一中生四人) 「弘前地区大盛況の大会」

7月1日(日)午前10時30分より、弘前市民文化交流ホール(ヒロロ4階)に於いて、24参加団体及び一般参集者のもと、第68回“社会を明るくする運動”メッセージ伝達式及び決起大会が総勢200名が集い盛大に行われました。

参加者全員による五つの誓いの唱和に始まり各メッセージの伝達、激励のことばの後、弘前第一中学校生徒4名による意見発表は、参集者を納得させるに充分でした。

アトラクションには、旧岩木地区岩木ファミリーバンドが6年振りの登場で、その鮮やかな演奏ぶりを披露してくれました。アンコールのかけ声にも快諾し、暑さを忘れる一時でありました。

その後、JR弘前駅とイトーヨーカドーに分かれて更女の皆さんも同行し街頭活動を実施、大会は成功裡に終わりました。



決意表明



イトーヨーカドーに現るホゴちゃん



弘前第一中学校生徒4名による意見発表



旧岩木地区岩木ファミリーバンドによる演奏

鯨ヶ沢地区

### 協力体制が深まった社明活動

6月21日(木)深浦町町民総決起大会,7月11日(水)鯨ヶ沢町町民総決起大会に保護司の大半が参加しました。鯨ヶ沢町では、第67回社明作文コンテストで『はまなす賞』を受賞した神 愛桜さん(昨年度舞戸小学校6年)の作文発表がありました。今年度も両大会で『社会を明るくする運動』の横断幕を掲げて、青森県警察音楽隊の吹奏楽団の先導により総決起大会パレードに参加しました。今年度は保護司の参加が例年になく多く、協力体制が更に深まった感がありました。



また、今年度も地区更生保護女性会と共催で当地区の全小学校(5)・中学校(4)・高等学校(2)で朝のあいさつ運動&ティッシュ配りを実施。毎年恒例となり、先生方や児童・生徒も校門に立ち一緒にあいさつ運動に加わってくれました。

普段、子どもたちと触れ合う機会がないので、新鮮で笑顔が絶えなく、朝早くからの活動ではありましたが、各校で清々しい朝を体感できました。



むつ下北地区

### 第39回下北一周愛のキャラバン

7月2日(月)8:10市役所集合。むつ市博愛号等で市内広報活動。

【9:00~9:20】東通村役場でのメッセージ伝達式に、会長・保護観察所長・県保連会長・保護司・東通更女・村職員出席。

【10:40~12:00】むつ市立大湊中学校での伝達式。学校紹介のライド上映・吹奏楽部の演奏・全校合唱・大中(おおちゅう)フィナーレを披露した。安渡館で昼食(海軍カレー)、川内庁舎・脇野沢庁舎を訪問。

7月3日(火)9:00むつ市役所前集合。10:00大畑庁舎で出発式をして風間浦村役場前・大間町総合開発センターで伝達式・昼食。

【14:20~15:35】

佐井村立佐井中学校での伝達式で、赤十字委員会等のボランティア活動紹介、吹奏楽部の演奏、全校合唱の発表がなされました。



昭和48年以来文化祭、  
体育祭の演目。



少人数でも、地域行事に積極的に参加。

### 「街頭活動」、「ミニ集会」、「作文応募依頼等で学校訪問」、「メッセージ伝達式」、「講演とチャターコンサート」など

野辺地地区



七戸町支部は、作文応募依頼等で小・中学校6校の学校訪問、のぼり旗設置、スーパー等での街頭活動、書道作品応募依頼で書道塾訪問など実施しました。



東北町支部は、更生保護女性会と共催の「社明運動ミニ集会」を実施。青森保護観察所・本平所長よりギターを交えてのご講演をいただきました。



横浜町支部は、メッセージ伝達、作文応募依頼等で小・中学校の学校訪問、役場防災無線で「社明運動」の呼びかけを実施しました。



六ヶ所村支部は、村長室において支部長より村長へ内閣総理大臣・県知事メッセージを伝達等して懇談。役場前にのぼり旗、横には懸垂幕を掲げました。



野辺地町支部は、若葉小学校でメッセージ伝達式(本平所長・天内会長より町長へ伝達)と内藤敏子氏の「講演・チャターコンサート」。「講演・チャターコンサート」は他の2小学校でも実施しました。

上十三地区

## 道行く市民に社明運動が、少しでも伝わればと願い

7月28日(土)長い歴史を誇る「三沢七夕まつり」で、恒例の社明運動を展開しました。七夕まつりは、市役所・商店街・三沢基地メインゲート前までの交差点を、歩行者天国として開催されているものであり、七夕飾りの華麗さと賑わいと活気のある中、社明運動の啓蒙と市民への



理解を呼びかけました。更生保護女性会と保護司が協力して、人通りの多くなる中を丁寧に呼

びかけ、道行く市民には社明運動が、少しでも伝わればと思っております。連日、猛暑が続いていましたが、当日の天気は曇り空で比較的行動が楽に進み、側らではダンスコンテストなどの催し物が行われている、賑わいの中に街頭活動をしました。

八戸地区

## 五戸分会・八戸分会・三戸分会それぞれの社明

八戸地区保護司会は、三つの分会から成っています。  
 【五戸分会】6月12日には戸来小学校において田中康勝保護司を講師としての講話会が、7月8日には専念寺を会場に夕涼みおとぎ会が開催されました。7月10日には五戸地区巡回啓発広報活動が、五戸町、新郷村でのメッセージ伝達後、行われました。さらに、7月15日の豊間内地区「虫送り」、8月4日の夏祭花火大会での啓発広報活動も行われています。  
 【八戸分会】7月2日、メッセージ伝達の後、中心街での街頭啓発広報活動が行われ、ティッシュペーパー・



うちわを配布し、市長とジャンプチーム代表が防犯・非行防止の呼びかけをしました。7月11日、階上中学校での社明推進大会では、町長講話の後、恒例の、生徒たちが保護司を囲んでの意見交換会が行われました。各地夏まつりやおとぎ会などでも啓発広報活動が行われています。

【三戸分会】7月6日、田子町での出発式後、三戸町、南部町の各本庁舎でメッセージが伝達されましたが、降雨のため街頭でのティッシュペーパー・うちわの配布は取りやめとなりました。同日、田子小学校で工藤智也分会長を講師に、「社会を明るくする運動について」と題して講話会が行われています。

## 保護司開拓推進協議会及び法務大臣感謝状伝達式

8月31日付けの退任保護司を迎え

- 平成30年8月23日(木) 午前11時30分から
- 青森市のラ・プラス青い森にて

平成30年8月31日付けで退任した6名の保護司が参加され、本平青森保護観察所長より法務大臣感謝状が、また天内青森県保護司会連合会長より全国保護司連盟理事長からの記念品の伝達がありました。これは青森県内で初めて行われ、伝達式後、昼食懇談会そして今後の保護司開拓の在り方について意見を述べて頂きました。また平成31年2月退任前にも開催の予定です。

### 【保護司開拓の在り方について一部紹介】

- ◎保護司の現状を説明する機会を増やし、積極的に発掘していくことが必要ではないか。保護司OB会などで情報交換して行く。
- ◎小さな地域では、対象者が出入りしていることが地域に広がり、きまざい部分があることも発掘に影響しているのではないか。



左前から橋本敏子(八戸)、本平保護観察所長、天内保護司会連合会長、工藤壽子(むつ下北)、左後から野呂修身(つがる)、三浦則孝(つがる)、黒瀧信行(弘前)、立花哲藏(むつ下北)〈敬称略〉

次の方々から浄財が寄せられました。  
厚く御礼申し上げます。(敬称略)

(更)青森県更生保護協会 寄附者御芳名

- 〈平成30年3月1日～平成30年8月31日〉
〈20万円〉 協同組合 タッケン
〈5万円〉 社会福祉法人 内潟療護園
中村 勝弘 ・ 千葉 満
川嶋 勝美 ・ 藤井 洋一郎
〈4万円〉 黒瀧 信行 ・ 源新 和彦
田邊 孝美 ・ 柿崎 雅美
山口 正春 ・ 石田 恒久
川島 芳正 ・ 石田 憲久
武田 隆一
〈3万円〉 青森地区更生保護女性会(みんなのつどい)
八木橋 満則 ・ 佐藤 玲恵子
奈良岡 隆 ・ 成田 正義子
津島 弘美 ・ 沼田 桃子
半田 秀美 ・ 鈴木 泰雄
大坂 健藏 ・ 佐々木 雅久
天内 修 ・ 米谷 恵司
〈2万円〉 八戸地区更生保護女性会
〈1万円〉 十和田地区更生保護女性会
有限会社 塚本建設
今歯科医院
野澤 寿代 ・ 古川 節子
菊池 愛子 ・ 山田 泰仙
〈5千円〉 宮越 寛

(更)あすなろ 寄附者御芳名

- 〈平成30年3月1日～平成30年8月31日〉
〈15万円〉 黒瀧 信行
〈5万円〉 佐藤 武治 ・ 三浦 順子
〈3万円〉 富田 光子
青森地区更生保護女性会
〈2万4千5百円〉 八戸地区更生保護女性会
〈2万円〉 むつ地区更生保護女性会
五所川原地区更生保護女性会
〈1万5千円〉 NPO法人青森県就労支援事業者機構
〈1万円〉 石田 道夫
〈5千円〉 三戸地区更生保護女性会

(更)青森県更生保護協会 会員御芳名

- 〈平成30年3月1日～平成30年8月31日〉
【賛助会員】 〈8万円〉 株式会社 みちのく銀行
青森県火災共済協同組合
〈4万円〉 株式会社 青森銀行
〈1万円〉 株式会社 アケア

平成30年 春の叙勲・褒章
おめでとうございます(敬称略)

叙勲 【瑞宝双光章】

齊藤 恵美子(五所川原・保護司) 更生保護功労

褒章 【藍綬褒章】

黒田 長子(八戸・保護司) 更生保護功績
木明 昭一郎(野辺地・保護司) 更生保護功績

○退任保護司 長い間ありがとうございました。

(平成30年4月15日付け) 梅原 茂(青森)
(平成30年6月30日付け) 大平 浩倫(南黒)
(平成30年8月31日付け)

黒瀧 信行(弘前) 川村 昭子(弘前)
橋本 敏子(八戸) 森田 忠(八戸)
青木 功(八戸) 佐々木 和子(八戸)
齋藤 直市(五所川原) 三浦 則孝(つがる)

○新任保護司 今後の御活躍を期待します。

(平成30年9月1日付け)
外崎 玄(青森) 笹森 康之(青森)
山本 光藏(青森) 中田 靖人(青森)
米谷 恵司(青森) 坂本 浩司(青森)
小山内 則子(弘前) 石山 敬(弘前)
高橋 武敏(弘前) 渋谷 拓弥(弘前)
須藤 典子(弘前) 赤石 和枝(八戸)
千葉 ケイ子(八戸) 蹴揚 忠義(八戸)
大平 陽子(南黒) 北山 倉栄(河南)
一戸 治(五所川原) 三上 敏洋(五所川原)

●敬弔

ここに生前の御功績を偲び、
謹んで哀悼の意を表します。

【保護司】

松尾 幸一(野辺地) 平成30年5月2日御逝去
竹山 時彦(青森) 平成30年7月10日御逝去

大規模災害発生時における
安否確認について(お願い)

大規模災害時等には、連絡網が利用できない
ことが想定されます。安否確認のためにも、
通信連絡が可能になった際に各保護司から所
属の保護司会事務局又は保護観察所に御連絡
いただくようお願い致します。また関係団体
の皆様におかれましてもこれに準じた対応に
てお願い致します。

——平成30年度 安否確認連絡先——
青森保護観察所 (TEL 017-776-6419)
企画調整課長 (TEL 090-7329-2967)

書・塩原 誓子(保護司)
青森県更生保護女性連盟副会長

人間万事塞翁馬として知られる
人間の幸・不幸は幸と災いになり
災いも幸と変わることもあり、人生の
禍福が定まることがないことをたどて
予言はあり
失敗や災い運を運と受けとらるる
しるべき。今を一生懸命生きると
が大切な事と思ひます

イオウガマ
塞翁の馬

エネジ
淮南子

塞翁の馬
おまけ